

東京ビルメンテナンス政治連盟

私たち東京ビル政連は、ビルメンテナンス業の発展を促進させるため、要望活動や情報交換、連携を密に、適切な活動を行っています。



内閣府ホームページ>市場化テスト事業情報のご案内

市場化テスト事業情報

内閣府発信、市場化テストの対象となった事業を確認できます。次のURLから進んで下さい。

<http://www5.cao.go.jp/koukyo/jigyuu/jigyuu.html>



内閣府

Cabinet Office, Government of Japan

文字の大きさ 標準 大きく

検索 内閣府共通検索

[内閣府ホーム](#) > [公共サービス改革](#) > 市場化テスト事業情報

市場化テスト事業情報

このページは、市場化テストの対象となった事業を一覧にしたものです。

番号	事業名	分類	所管府省	独法名	事業期間
----	-----	----	------	-----	------

[<スクロールダウン>](#)

<ウィキペディアより抜粋>

市場化テストとは、公共サービスを国民に提供する主体として、官と民のどちらがより国民の期待に応えられるのかということ国民に判断してもらうために行われる、官民競争入札制度のことを言う。与党および一部野党の賛成で2006年5月26日に成立した『競争の導入による公共サービスの改革に関する法律』に基づく。小泉内閣の構造改革の中で打ち出した施策の一つとして採用された。

概要

「民でできるものは民へ」の基本姿勢の具体化や公共サービスの質の維持向上・経費節減等を図る方法で、官の世界に競争原理を導入し、官における仕事の流れや公共サービス提供のあり方を変える取り組みである。この背景には、民間にできることを行政が独占しているとの批判や、財政赤字が膨らむ中で公的サービスをもっと効率化すべきである、といった議論が当時あった。公共サービスは官しか行うことができないというこれまでの考え方を転換し、公共サービスの中に民間でもできる仕事があるのではないかと、民間でできる仕事ならば官と民でどちらが効率的に行うことができるか競い合うことによって、公共サービスを向上させようというのが制度の根本的な考え方であると推進側は説明する。

目的

行政の効率化。「小さくて効率的な政府」をスローガンに、三位一体の改革と並んだ、共通の目的である。競争入札形式にすることで、現行の行政サービスをよりよいものにするだけでなく、民間の持つマーケティング力を活かして国民（市民）のニーズにあったサービスを提供することが期待される。また、民間に事業を開放することで新たな事業分野が創出される（建設投資することなく、事業が開始できる）

官の側も入札に参加することで意識改革が期待できる。今まで不透明だった行政サービスの内容やコスト構造を透明化する。